

第十堰の内部状況の現地見学会 開催

- 徳島河川国道事務所では、平成25年11月26日にお知らせしたとおり、第十堰左岸（北岸）側の一部のコンクリート版において、堰内部の空洞化により、経年的に最大約30cmの沈下が見られたことから、平成25年12月3日よりコンクリート版の修繕に着手しているところです。
- <http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/report/info25/h251126/h251126.html>
- 現在、コンクリート版の撤去を行っているところであり、間もなく撤去が完了します。つきましては、普段は見えない堰の内部構造が観察できることから、一般の方々にも見ていただけるように、次のとおり現地見学会を開催します。（別紙1参照）
- 日時：平成26年2月3日（月）午前と午後に各1回
午前の部 10時から1時間程度
午後の部 14時から1時間程度
ただし、10時から16時までの間は、上記見学会以外の時間帯においても堰内部の見学は可能です。
 - 参加登録：自由参加（事前の申し込みは必要ありません）
 - 天候等により延期となる場合は、事務所ホームページ上にてお知らせします。現地見学会当日は、必ず事務所ホームページを確認のうえ、参加ください。なお、延期となった場合は、2月4日～2月7日の間のいずれかの日で開催する予定です。事務所ホームページを確認してください。
- <http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/report/info25/h260127/h260127-3.pdf>
- 現地見学会以降、堰内部の空洞状況を調査したのち、堰内部の空洞を玉石等で補充し、コンクリート版で覆います。作業ヤードの撤去を含め平成26年3月上旬までに工事を完了させる予定です。（別紙2参照）

平成26年 1月27日

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

本施策は、四国圏広域地方計画「No.6 防災力向上プロジェクト」の取り組みに関連します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

<修繕関係>

副所長（河川）	赤澤 善樹（あかざわ よしき）	TEL 088-654-2211（代表）
河川管理課長	片山 和夫（かたやま かずお）	TEL 088-654-9266（直通）

<調査関係>

○副所長（地域）	清水 宰（しみず つかさ）	TEL 088-654-2211（代表）
河川調査課長	生田 浩一（いくた こういち）	TEL 088-654-9611（直通）

○：主たる問い合わせ先

■ 現地見学会について

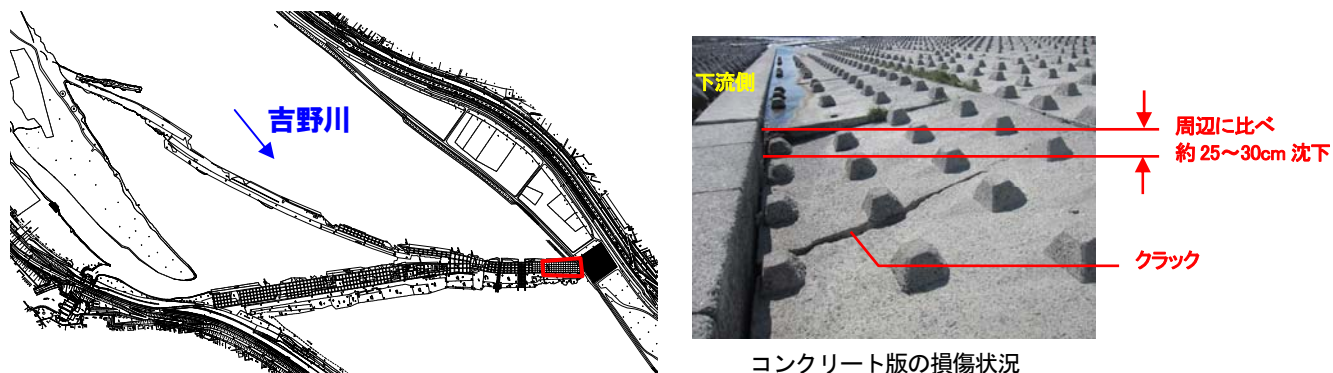
- コンクリート版の撤去にあわせ、一般の方々を対象に現地見学会を開催します。
 1. 日時：平成26年2月3日（月）午前と午後に各1回
 - 午前の部 10時から1時間程度
 - 午後の部 14時から1時間程度
 ただし、10時から16時までの間は、上記見学会以外の時間帯においても堰内部の見学は可能です。
 2. 場所：第十堰左岸側の修繕箇所
 - ※当日は、第十堰左岸（北岸）側の高水敷にお越しくください。
 - ※また、見学場所は、工事現場ですので衣服や靴が汚れる場合があります。
 3. 参加登録：自由参加（事前の申し込みは必要ありません）
 4. その他
 - 自家用車でこられる方は、可能な範囲で西（上流）側からお越しくください。（東（下流）側からこられた場合はUターンが必要になります。）
 - なお、県道からの進入にあたっては、交通誘導員の指示に従ってください。



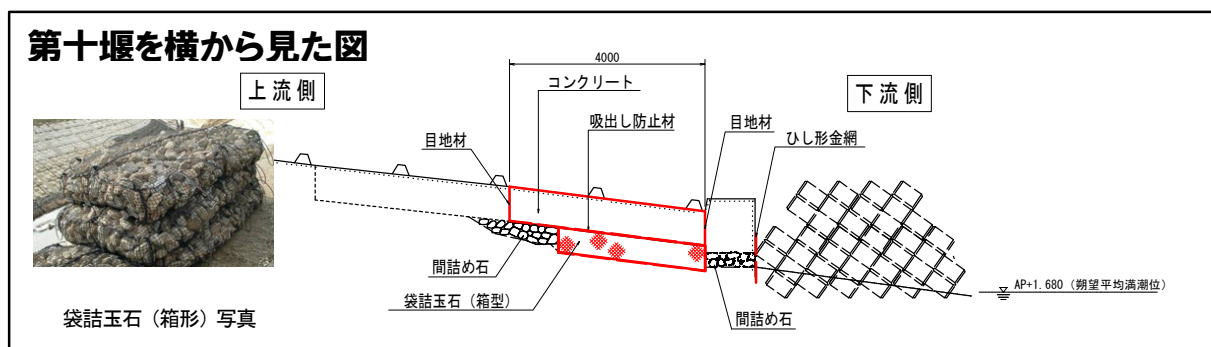
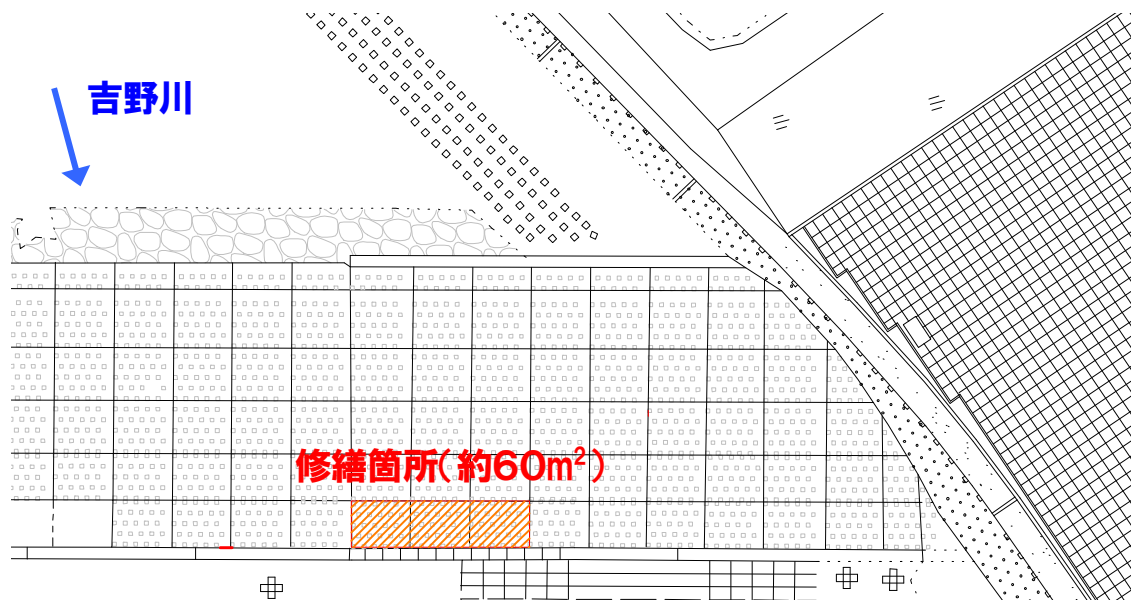
- 見学場所は工事現場であり、足場が悪く危険な箇所もありますので担当者の指示を必ず守るようお願いいたします。なお、見学にあたっての参加者の不注意等による事故発生に対する責任は負いかねます。
 ※事故等に係わる保険等の加入については、参加者においてお願いします。
- 天候等により延期となる場合は、事務所ホームページ上にてお知らせします。現地見学会当日は、必ず事務所ホームページを確認のうえ参加ください。なお、延期となった場合は、2月4日～2月7日の間のいずれかの日で開催する予定ですので、事務所ホームページを確認してください。
<http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/report/info25/h260127/h260127-3.pdf>

■ 修繕工事の概要

- 修繕工事については、平成25年12月3日より作業ヤードの整備等に着手しており、平成26年1月中旬より堰本体の修繕工事のうち、コンクリート版の撤去を開始しています。
- その後、現地見学会及び空洞状況等の調査を行ったうえで、堰内部の空洞を玉石等で補充したのち、コンクリート版で覆い、作業ヤードの撤去を含めて、平成26年3月上旬までに工事を完了させる予定です。
- 工事現場付近について、見学会開催日以外の工事期間中は、安全上入れません。



コンクリート版の損傷状況



■ 空洞状況等の調査内容

今後、堰内部の空洞の大きさや水の流れ等を観測します。
 結果については、今年度中にその概要を事務所のホームページにてお知らせする予定です。